

講義コード	11C0383601	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	今井 賢	開講期	通年
科目名	コンピュータ科学					今井 賢		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>コンピュータは、メールやインターネット、文書処理、数値処理や画像処理、さらにゲームなど、知的な作業を瞬時に処理します。しかし、コンピュータは決して魔法の箱ではありません。それらはすべて、プログラムが行っているのです。それでは、プログラムとは一体何でしょうか。高度に情報化された現代社会では、社会科学系の学生といえども、プログラムの正体を知っておく必要があります。本講座の目的は、プログラムとは何かを実際に知る事です。そして、その結果、皆さんが、日本（アジア）における未来のビルゲイツ（マイクロソフト社の創始者の一人）やスティーブジョブズ（アップル社の創始者の一人）となることを期待しています。</p> <p>なお、まったくのプログラミング初心者を対象としているため、分かりやすくゆっくりと授業を進めます。</p>								
到達目標	<p>コンピュータプログラムとは何かを説明できます。アルゴリズムとは何かを説明できます。ごく簡単なプログラムを作成できます。</p> <p>どのようなソフトウェアが今後必要になるかを予想でき、その具体的製作計画を立案できるようになります。</p> <p>社会科学系の皆さんには「どんなプログラム（アプリ）を作ればヒットするか」が分かるようになってほしいのです。それには、少しでもプログラムとは何かを知ってほしいのです。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>残念ながら、自分で（本などを参考にしてちょこちょこ）勉強して分かるような安易な分野ではありません。したがって、本講座では、予習ではなく「復習」をきちんとすること。授業で説明した内容を復讐し、授業中の課題や授業後の宿題を必ずこなすこと。</p> <p>後期の終りには、自由課題でのプログラミングがあります。</p> <p>授業外学修の時間は通年で、他の授業と同様、120時間（4時間/週）が目安です。</p>								
授業計画	<p>【第1回】 ガイダンス 【第2回】 プログラム言語とプログラミング 【第3回】 Visual Basic とマクロ (VBA, VBE) 【第4回】 マクロのセキュリティとプロシージャのコード入力・実行・保存 【第5回】 VB 基本文法 簡単な入力と出力 【第6回】 部品（オブジェクト（コントロール））の設定 【第7回】 セルポイントの移動とマクロ その1 【第8回】 セルポイントの移動とマクロ その2 【第9回】 セルポイントの移動とマクロ その3 【第10回】 マクロの記録 その1 【第11回】 マクロの記録 その2 【第12回】 マクロの記録 その3 【第13回】 基本演習 その1 【第14回】 基本演習 その2 【第15回】 まとめと復讐 【第16回】 前期の復讐 【第17回】 アルゴリズムの基本構造とフローチャート 【第18回】 VB 基本文法 変数、定数と式 【第19回】 VB 基本文法 条件分岐 【第20回】 VB 基本文法 ループ 【第21回】 構造化プログラミングの考え方 【第22回】 基本演習 【第23回】 MS-Word PowerPoint のマクロ 【第24回】 応用演習 その1 【第25回】 応用演習 その2 【第26回】 乱数を使ってみよう その1 【第27回】 乱数を使ってみよう その2 【第28回】 自由製作 その1 【第29回】 自由製作 その2 【第30回】 まとめと評価</p>								
成績評価の方法	<p>課題やレポート（30%）、確認テスト（30%）、自由課題プログラム作品製作（40%）。 期末の試験はありません。</p>								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	<p>本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。</p>								
その他									